

都留市地名考 その十九

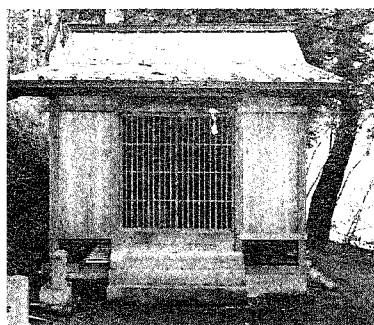
窪田 薫

○厚原の地名と熊野神社

厚原の地名は『甲斐国志』によると薄原とよんでいた。薄の音はハクでウスイの意であることから、明治八年一月の町村合併の際、ウスイを嫌って嘉字のアツイに改めたといわれる。

厚原の熊野神社は現代字坂本の地に祀られ、古代紀伊の熊野神社と関係深い出雲の熊野神社（祭神―素盞鳴尊）を勧請し、五穀豊穡を祈願したのである。

紀伊（和歌山県）熊野の古代豪族に宇井・鈴木・榎本の三氏があり、このうち鈴木氏は政務を離れて熊野大社の職制（衆徒・社家）についてた。社家は御師となつて熊野信仰の全国的な普及に努めた。



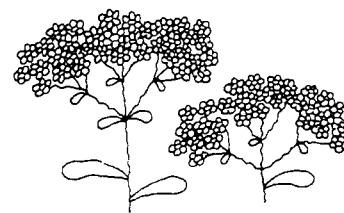
厚原字坂本に祀る厚原熊野神社

また、その信者を壇那とよんだ。「売渡申本錢返旦那之書」という古文書によると、都留郡守護小山田氏（中津森殿）は壇那であり、厚原熊野神社との関係が察知できる。

全国に圧倒的に多い鈴木姓は熊野信仰の全国普及に努力した鈴木氏の影響によるものといわれる。昭和五十五年七月、市教育委員会により「厚原牛石遺跡」が調査され、縄文、弥生、奈良、平安時代の多くの住居址が発掘された結果、厚原は大昔から人々の生活の場であったことが知られる。

『甲斐国志』によると当時の厚原熊野神社の神宮は川上山城守で、鹿留の熊野三社権現ほか数社を兼帯している。この川上氏は山城守（京都府）山城・丹後・丹波を名乗っていることから、祖先は丹後国熊野郡川上村の河上摩須女ではないかと判断される。『古事記』によると摩須女は人皇第九代開天皇に娶られ、三女一男の御子を産れた。都留市に川上山城守の子孫が現住されるところである。

第2回野外植物観察会



都留文科大学の森江晃三教授を講師にお迎えして2回目の観察会を行います。

夏の植物には少し遅い時期ですが、盛りをすぎた夏の植物の様子を見たいと思います。そして、自然の中の小さい秋をみつけたいと思います。

文化会館から自然遊歩道を横切るかたちで、山をこえ法能をへて都留カントリークラブのあたりまで観察して歩く予定です。まだまだ暑いころでしょうが、暑さに負けずにご参加ください。帽子や水筒などを用意されるとよいでしょう。

日 時 8月28日(土)
午前9時30分～正午
雨天の場合は29日(日)に延期

集合場所 文化会館ロビー

参加料は無料ですが、保険料として1人100円をご負担いただきます。

定 員 40名

締 切 8月24日(火)

申込・問合先 市教育委員会 社会教育課

ふるさとの



8月

1日 石船神社例祭 石船神社

七夕星祭り

文化会館駐車場

7日 金山神社例祭

金山神社(上谷)

10日 観音例祭

泉福院

28日 田原神社例祭

田原神社

9月1日

八朔祭 生出神社

(四日市場)

勝山八幡神社例祭 (川棚)

三社神社例祭(コンニャク祭り)

(羽根子)

御獄神社例祭(深田)

熊野権現社例祭(中島)

天神社例祭(新井)

尾県郷土資料館特別事業

バードカービング教室

昨年に引き続き、講師に野性動物写真家の中川雄三さんをお迎えして、野鳥との興味深いお話を交えながら、初心者向けのハーフキットを使い、カッターや彫刻刀などで形を整え、色鉛筆で着色します。なお、作品材料代はご負担いただきます。

日 時 8月23日～25日 午後1時～4時
場 所 尾県郷土資料館

定 員 23日(20名)、24日(20名)、25日(20名)

締 切 8月19日(木)

申込・問合先

尾県郷土資料館 (45)0675
(火・木・土・日・祝)

午前10時～午後4時

市教育委員会 社会教育課

鉧路市友好都市提携一周年記念

『増田 誠展』

都留市・鉧路市友好都市提携一周年を記念し、8月29日から9月12日まで、ふるさと会館増田誠美術館で、画伯の第二の故郷、鉧路市及び鉧路市民の方々の所蔵絵画をご厚意により借用し特別展を開催します。

製作年代は1950年代から1989年までの広範囲に渡り、80号、100号といった大作が出揃います。

通常の開館時間は9時半から4時半までですが、9月1日の記念日には9時半から7時まで開館します。

鉧路市との友好の和を広げるためにも、市民の皆さん多数のご来館をお待ちしています。